



来賓の皆様と一緒に

平成27年3月22日、きれいな青空のよき日に、1名の女子児童が晴香園から旅立ちました。卒園児を祝う「旅立ちの会」には、理事、評議員、後援会役員の方々のほか、中学校、高校の先生、また就職先の社長さん等も出席してくださいました。児童代表、弟、担当職員からも送る言葉をもらった卒園児は、涙をこらえるのに必死だったようです。

祝いの歌として、『大切なものを職員と子どもで合唱し、「がんばってね」というメッセージを込めました。多くの人に祝われ、応援されて、晴れがましい笑顔で、旅立っていった卒園児。これから辛いこと、苦しいこともたくさん経験するでしょう。でも、決してあきらめず、目標を見失うことなく歩んでいってほしいと思います。新しい生活が軌道に乗るまでは、職員が定期的に訪問し、話を聞いたりしながら、見守っていくつもりです。下は、旅立ちの会で送る言葉に応えた卒園児の「旅立ちの言葉」です。



ホーム職員と姉弟で



題字 山本健治先生

第24号

発行

児童養護施設 晴香園
〒270-0011 千葉県松戸市根木内145
電話 047(345)2722
FAX 047(309)8807
E-mail:info@s-haruka.org



卒園児の旅立ちの言葉

私は小学4年生の春休みから晴香園に来た、今日までの8年間たくさんの思い出がありました。

小学校、学校から帰るころ、ランドセルを放り投げた外に出るいき、ドッチボールやサッカーをやったことが印象的です。

中学校、ソフトテニス部に所属していた、部活が毎日忙しく、大会でも優勝することが出来、とても充実していたことを覚えています。

高校はつい先日卒業し、たくさんの思い出があり、言葉ではうまく表せられません。友人とぶつかり合い、泣き笑いを共にし、ぶつかけ合い、恋をします。本当に様々なことがありました。いから卒業が名残惜しくなりました。卒業式では気持ちいから涙があふれていました。それと共にお世話になった方々の顔が浮かんできました。

後援会の方へ

松井さんを始めとする後援会の方々には様々な事でお世話になりました。習い事等の支援や、長野旅行、食事会等々感謝の気持ちでいっぱい입니다。自立後も支援頂けるということに精一杯頑張りたいと思うのでこれから温かく見守って頂けるととても嬉しいです。

職員のみならず、学校の先生方へ

他多数の方々にも感謝してもしきれない程の恩を感じています。私は夢を叶えるということにみなさまに恩返しをしていくつもりです。新しいことばかりで、またまた未熟な自分ではつづいていけるかもしれません。そんな時、今までと変わらぬその温かさを受け入れられると嬉しいです。

そして私はこれから必ず美容師になる笑顔で報告にすることを約束します。今までありがとうございました。いってきます。

高校生進路アドバイスの会

「後援会より」 石原 研作

晴香園で生活する子どもたちは、高校を卒業すると卒園し社会へ巣立っていきます。頼れる親や家族がいない子どもは、自分の力で多くの困難に立ち向かわなくてはなりません。

今日のような厳しい社会経済環境において、社会の一員として自立していけるようにするには、支援が必要なものもあります。支援には、精神的支援と経済的支援がありますが、後援会は皆様方から頂いた会費や寄付をもとに、卒園児の進学支援として経済的援助もしております。

これまでに、1人が大学を、2人が専門学校を卒業し、今は社会人として活躍しており、皆様のご支援に本当に感謝しております。

しかしながら、今まで進学支援をした卒園児の中には、途中で退学をした子どももいます。

このような現実を踏まえて、進学希望の子どもたちに、何故進学したいのか、将来何を指すのかといった本人の考えや意欲を後援会として早い段階から確認すること、就職希望の子どもたちについ

ても希望する進路や悩みを聞いて、少しでも自立の役に立てることが大事であると感じました。

そこで、本年度より、後援会として高校生の進路アドバイスの会を開始致しました。2月11日に第一回目の会を開きました（高校2年生の男子1名と女子4名と後援会4名が参加）。初回でしたので、お互い手探り状態で、どこから話せば良いのかさこちないスタートでしたが、園の計らいで食事を取りながらの話し合いが出来、少しずつではありますが、子どもたちの本音を聞けたように思います。

今後、本人たちも卒園後の進路をどうするか決めなければならぬ現実面に直面することになります。そういう時、具体的な悩みを聞き、進路を決める時の重要な助けになる会にしていきたいと思っております。

まずは来年の春に卒園する5人の子どもたち全員が、笑顔で胸を張って卒園できるように応援をしたいと思っております。

晴香園職員より

職員として、進学後の中退者や、離職者について話し合ってくる中

で、具体的な卒園後のイメージが無いまま何となく卒園してしまうことが問題と考えました。そこで、色々な経験を持った後援会役員の方と話し、経験談や進路についてのアドバイスをいただくことで、目標を持って進学・就職が出来るのではないかと考えました。

また、卒園時の支援金や、進学の学費についても、後援会の方々に支援していただいています。そのありがたみや、大切さを感じる事が出来ない子どもがいるのが現状です。そのため、後援会役員の方と話を深めることで、多くの後援会会員の方から支援して頂いているという気持ちを深め、感謝の気持ちを育てていきたいと考えています。

今後、進学・就職に関係なく、学期ごとに開催することを予定しています。話しやすい雰囲気の中で、回数を重ねるうちにより具体的な話し合いが出来、自分の進路選択に自信を持って卒園していただけることを期待しています。



参加した高校2年生の感想



会の後、カフェにて

で、今回の話を聞いて、保育士だけではなくもっと他にも子どもに関わる仕事があるんだなと思いました。

今回、将来のことをたくさん話げできたけど、もっともっと詳しく話げできたらいいなと思います。

【O・M】

結構ためになりました。さまざまな体験話を聞いて、こんなこともあるんだなと思いました。

花関係のことでいろいろ教えてもらいました。園芸・花屋の大変さ等。

花関係のこと、もっと詳しく聞きたいです。

【A・I】

想像してたものと違って、気軽に話すことができたのでよかったです。

違った職業の話が聞けたことがためになりました。

【K・A】

今まで自分の将来のことは狭い範囲でしか考えていなかったの

大人からの視点での話を聞いて、私の視点では気づけなかった点、考えをあらためなければならぬ点があり今後を考える上でとてもためになりました。

今回は進学してから大変だったこと、就職活動をした時のことを聞きたいです。



仲よし4姉妹

後援会との交流食事に ホテルミラコスタにて

毎年12月、東京デイズニースー・ホテルミラコスタでのお食事会に後援会から招待頂いています。

今年は、小学6年生以上の15名全員が出席することができました。後援会の皆様との交流はもちろんのこと、TPOに合わせた服装やテーブルマナーを学べる機会でもあります。いつもよりおしゃれをして、普段の生活の場とは違い、ちよつと大人っぽく振る舞う子どもたちの姿が見られました。



ちよつと緊張しての食事会

ゲストの大山裕さんのコンサートでは、園の女子中高生の間でも絶大な人気を誇る『嵐』の曲から始まり、今年ヒットした『アナと雪の女王』の主題歌までカバー曲を披露して頂きました。ミニゲームは、受験を控えた中学生もいるため、時事問題を用意しました。今年、2014年にあつた12個の

ニュースが何月の出来事だったかを当てるゲームです。これが意外と難しい！ 子どもも大人も一緒になって頭をひねらせ大盛り上がり。「こんなこともあつたね」と今年を振り返る良いきっかけになりました。また、ごちそうを頂きながら、パレードや花火を見て楽しみ、素敵な時間となりました。



デザートにピース!

新年を迎える準備 おもちつき

昨年末、晴香園の中庭にて、毎年恒例のおもちつきが開かれました。

準備段階から積極的にお手伝いしてくれた子ども達は職員より内容を把握していてスムーズに準備が整いました。

力自慢の男の子はひとりで頑張つて、他の子どもはボランティアの方々と一緒にもちをつきました。頑張つてたくさんのおもちがあつたら、ここからはお待ちか



後援会の方と一緒にもちつき

ねの試食タイム！
きなこ・あんこ・ずんだ・納豆・のりと5種類のおもちが出来ました。おもちの調理は大きい子たちが、頑張つてくれました。



食べるスピードに追いつくのが大変!

それまで待機していた「食べる専門」の子どもたちが満面の笑顔でたくさんのおもちをお皿に盛つ

て頑張ります。
寒空の中、温かい豚汁と食べるおもちが格別な味がして、「今年ももうすぐ終わりだな」と振り返る良いきっかけになっています。今年もたくさんのボランティアの方々にご協力いただきました。本当にありがとうございます。



笑顔でほおぼる子どもたち

豆まき・ひな祭りを 楽しんで

今年の豆まきでの3歳の女の子Cちゃんの可愛いエピソード。「鬼は嫌だから外に行かない。Cは中に居る」そんなCちゃんのもとにも鬼(職員)が！ 声を掛けると、言葉も失い固まってしまいました。息も潜めている感じで。しかし、外の様子は気になるようでお姉さんと外に出かけていきます。



鬼に捕まらないようにとお姉さんの手をぎゅっと握つて。けれど、すぐに大泣きをして帰つて来ました。「H君が鬼になつちゃった」。中学生のH君が突然鬼に変身してしまい驚いた様子。その後は、「Cは鬼に捕まらないようにもう泣かない」と何度も何度も言っていました。
そして、3月。毎年飾るお雛様。今年も綺麗なお姿を見せてくれました。
夕食は、ちらし寿司、桜餅、雛あられが定番です。今年は白酒(ノンアルコール)を買つてきて飲んだ子どもたちも居たようです。残念ながら子どもたちの口には合わない経験、思い出として心に残してもらえたらと思います。

子どもの貧困対策

～すべての子どもたちが夢と希望をもって成長していける社会の実現を目指して～

これからの日本を支えていくのは子どもたちです。その、子どもたちの将来が生まれ育った家庭の事情などに左右され、子どもたちの将来が閉ざされてしまう場合が少なくありません。よって、子どもたちの生育環境の整備、教育を受ける機会の均等、生活の支援、保護者への就労支援など、子どもの貧困対策を総合的に推進するために、『子どもの貧困対策の推進に関する法律』が平成26年1月に施行されました。

貧困の概念には、「絶対的貧困」と「相対的貧困」のふたつがあります。絶対的貧困とは、人が生きていくのに必要な最低限の衣食住が確保できない層または個人のことを言います。それとは異なる日本の子どもの相対的貧困とは、平均的な生活レベルよりも著しく低いレベルで生活している子どもたちのことです。

3年ごとに実施している国民生活基礎調査(2012年の厚生労働省の調査)によると「子どもの貧困率」は16.3%で、過去最悪の数字を記録しました。

6人に1人の子どもが貧困家庭で暮らしているということになります。この貧困率は年々大きくなっており、先進諸国の中でも極めて貧困率が高いということも明らかとなっています。

また、児童養護施設に入所している子どもと貧困は決して無縁ではなく、親が子どもを育てられるような経済状態にないことも少なくありません。

家庭にいる子ども、きちんとした食生活が送れなかったり、進学したくても入学金や授業料が払えず進学できない、塾に通って勉強したくても塾代が払えず通えないという状況に陥り、意欲や希望も低下していきます。その結果、きちんとした就職にも結び付きにくく、経済的な困窮から抜け出せないということにもなるのです。

社会がこの貧困の問題の解決に向かえなければ、色々な意味での格差がますます拡大し、社会は不安定になっていくでしょう。貧困の連鎖を断ち切り、子どもたちに様々な機会を保障し、夢の持てる社会にすることが求められています。

切手回収のお礼と
再度のお願い

以前、お知らせした使用済み切手回収のお願いに、たくさんの方々からご協力いただきました。いただいた切手は、子ども達が少しずつ既定サイズに切っているところです。ある程度数が集まったら日本国際ボランティアセンターに寄付し、収集ボランティアに送ります。その時は園便りでご報告します。

ご協力いただきました方々、本当にありがとうございます。

そして、まだまだ切手は募集中です。子どもたちのボランティア活動にご協力ください！

封筒についたままでかまいません。少数でも結構です。傷のついた切手(消印以外の汚れ・欠損があるもの、破れているもの、折り目のあるもの)は換金できませんのでご注意ください。

【宛先】

〒270-0011

千葉県松戸市根木内145

児童養護施設晴香園 切手係

なお、誠に勝手ではございますが、着払いでの郵送はご遠慮ください。

●●編集後記●●

今年も春が巡ってきて、晴香園から1人の女兒が、旅立ちの時を迎えて夢への一步を踏み出しました。

私事ですが、子どもから時々される質問の一つに「将来の夢は？」というのがあります。ないと答えるのも味気ないので、私は「作家」と答えています。小学三年生の時、文集に書いた夢です。正確には「小説家になって有名になりたい」と書いたのです。プロットなんて一つも書かずに、洒落たペンネームを一生懸命考えていたあの頃、児童養護施設のあるも知らず、お父さんとお母さんのいる家が当たり前と思っていたあの頃、今の私を見たら小さい私は何を思うのでしょうか。たいていの職業図鑑にも載っていないこの仕事、この先、有名にはなれそうもないけれど、「誰かの記憶に残る」という意味では作家も今やってる事も変わりません。だれかと一緒に笑ったり泣いたり感動したり、人生に影響を与えるという意味で。小さい私と、夢見る園の子どもたち、そして夢は見終わったと思ってる大人の方々、やり方なんて何でも良い、自分だけの大切をみつければいい。Get Your Dream!

橋本・増子・大塚

新規会員ご入会 継続会員会費

納入ありがとうございます

新規会員ご入会及び継続会員会費納入ありがとうございます。お名前に誤字、脱字、記載漏れがありましたらお詫び申し上げます。また、その旨のご連絡を頂きたくお願い申し上げます。

(今号では、平成 26 年 12 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までにご入会の方及び会費を納入いただいた方を掲載させていただきます。)

【新規会員】

- 坂口 めぐ美
 - 小沼 英介
 - 齊藤 正明
 - 木元 淳平
 - 石川 琢哉
 - 松戸中央自動車学校
 - (株)伸幸
 - 柴田 悦治
 - 寺下 愛由実
 - 若目田 理英
 - 野口 敬子
 - 山川 美知子
 - 石川 貴朗
 - 渡部 愛子
 - 小堀 政子
- (敬称略・順不同)


【継続会員】

- 青木 早苗
- 浅井 利明
- (株)アテナ
- 松戸友の会
- 今井 朋子
- 岩橋 明
- 大野 稔
- 尾方 景子
- 草間 敏夫
- 栗田 裕
- 榊原 昭
- 宍戸 一陽
- 須田 唯珂子
- 田村 茂
- 土屋 供生
- 徳田 房子
- 中原 雅子
- 野尻 壽子
- 野呂 佐知子
- (株)アップ・シーアイ
- 淵本 康方
- 船橋 晴雄
- 墳崎 敏之
- 星野 敦子
- (有)シヨセ
- 三島 靖彦
- みどりのキャベツ(有)
- 森 勇樹
- (株)森モーターズ
- 山中 啓之

- (株)ユーライフ
- 湯本 壬喜枝
- 刀根 英二
- セブンイレブン船橋米ヶ崎店
- (株)ライズ
- 室橋 博史
- 縫部 鐵次郎
- 野村 義
- 堀井 豊
- 堀井 博子
- 竹中 加津枝
- (有)エール
- (株)山野辺建設
- 信田 典彦
- 梅本 高行
- 森下 智恵子
- 古市 香代子
- 白石 義雄
- 山田 敦子
- 阿部 美奈子
- 小嶋 祐司
- 阿部 寛子
- 小嶋 明日香
- 荻部 寿美
- 宇田川 太江子
- 柿沼 範明
- 段下 裕貴
- 渡部 尚英・直美
- 平野 菜穂季
- 古賀 穰
- 西川 弘子
- 鈴木 由美子
- 高安 京子
- 猿渡 英明
- 藤永 健二

「晴香まなび基金」へのご寄付
ありがとうございます

- 金鶴 友昇
- 石井 孝子
- 樽川 裕美
- 川島 初代
- 辻本 美代子
- 秋山 実



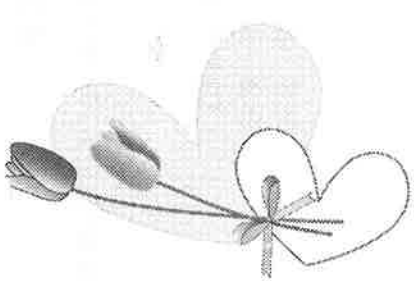
(敬称略・順不同)

- 池田 明子
- 佐々木 瑞恵
- 橋本 信男
- 藤田 亜子
- かちどき皮膚科クリニック
- 野呂佐知子
- 本庄 亮一
- 佐々木 雅子
- 副島 隆信
- 宇井 ひさ江

心温まるご厚志
ありがとうございます

- カゴメ(株) メディアコミュニ
- ニケーシヨン部 林田
- 聖光ヶ丘病院
- 株式会社チュチュアンナ
- アンデス食品
- (有)カサヤ防災システム
- 近内
- 「ほつともつと」
- 松戸遊技業組合
- 猿渡 英明
- 日本鏡餅組合
- 理事長 樋口 元剛
- 日本出版販売労働組合
- 中央執行委員長 土本 知英
- 日向 恵子
- 関川 節子
- 砂山 嘉幸
- セカンド・ハーベスト・ジャパン
- 楽天株式会社
- 西村 有美
- 全国シャンメリー協同組合
- 小倉マリ子
- 毎日新聞東京社会事業団
- 中山 誠一
- Pポケット
- マルハン松飛台店
- 植杉工業
- 代表取締役 植杉 勝
- ベストビルサービス(株)
- 代表取締役 小野邦之
- 株式会社 伸幸
- 取締役相談役 藤田 精一

千葉西総合病院
 根本内中学校教員の皆様
 メルセデス・ベンツ葛飾 株
 式会社シュテルン葛飾 課
 長 サービスマネージャー
 沢田 浩
 メルセデス・ベンツ葛飾株
 式会社シュテルン葛飾 従業
 員
 東 絵里奈
 山崎製パン 松戸工場
 安藤 淳子
 相川 亮二
 佐野 わか子
 藤井 英美子
 牧野 英美子
 ㈱クオリティライフ 岩瀬
 白鳥 貴美
 オペラ座
 ミソノ
 アート引越センター
 日向 恵子
 企業組合 労協船橋事業団
 ワーカーズコープちば 松
 戸地域福祉事業所 放課後
 等デイサービス みらい
 所長 吉田 裕之
 児童発達支援管理責任者
 吉田 初枝
 虎屋産業株式会社
 和田 純子
 明治安田生命保険相互会社
 柏支社 支店長 熊井 毅
 アミティーフーズ
 代表取締役 秋山 健太郎
 中村 康子



高橋 美加、修和
 (有)エール カーブス 南流
 山店、江戸川台店、イオンタ
 ウン七光台店、オオタカの森
 店、松戸馬橋店
 厨英彰、恵理子、霜田啓子
 ミスターパチンコ 流山店
 店長 本間 浩明
 ㈱アルマダ
 坂下 美知代、薮崎 幸子
 市川市社会福祉協議会
 松戸市社会福祉協議会
 サトウ ツヨシ
 流山市社会福祉協議会
 育野 悠紀
 岩崎 文雄
 山口 康勺
 小金原中央商店街振興組合
 大山 央
 晴香園 後援会
 ㈱丸昭建材
 ダスカリデスグループ
 中山 由理
 匿名6名
 (敬称略・順不同)

ボランティアのご協力
 ありがとうございます

○学習ボランティア
 柴田 和子
 田中 里奈
 高橋 千尋
 湯本 佳子
 小林 由美子
 吉田 珠穂
 青柳 陽子
 秋田 拓哉
 木下 恵
 猿渡 英明
 堤 大介
 山崎 絵里
 石川 悠久
 畑岡 進也
 後藤 奈々子
 富永 俊一
 佐久間 恒成
 草野 香奈恵
 荒川 由里恵
 井出 慶子
 杉浦 かおり
 林 洋子
 神部 等司

○遊びボランティア
 松田 瑞樹

○家事手伝いボランティア
 渡邊 富美子
 和田 純子

○図書室ボランティア
 口地 美恵子
 深山 喜子
 谷 康夫

○ピアノレッスンボランティア
 石井 美和

○習字ボランティア
 山本 健治

○散髪ボランティア
 ハーフムーン

○花ボランティア
 NPO 法人 Imagine
 副理事長 山下 緋沙子
 松戸更生保護女性会

○その他ボランティア
 フィリップモリスジャパン㈱

○誕生日ケーキプレゼント
 オペラ座
 (敬称略・順不同)

